

## 第 422 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 8 年 6 月 2 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX らじコン  
[放送日時] 令和 8 年 5 月 2 3 日 (土)
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 加藤裕治  
委員 小野晃司 委員 土屋維子  
(4 委員 / 6 委員)  
  
[会社] 取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充  
編成制作部 山本知照  
編成制作部シニアマネージャー 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○ K-M I X の 2026 年度の現況のご報告
6. 番組審議  
[番組名] K-MIX らじコン  
[放送日時] 令和 8 年 5 月 2 3 日 (土)  
[出演者] 久保ひとみ 京太郎 今中菜月  
[番組内容] 週末の、楽しくて為になる 2 時間の「ワイドプログラム」  
8 年目のらじコンに、新人パーソナリティ「今中菜月」が  
新加入！更にパワーアップしたらじコンに乞うご期待。  
毎週 1 つのコンセプトを掲げ、「週替わりのコンセプト」  
でテーマに沿ったコンテンツをお送りします。中心と  
なるのはパーソナリティ京太郎。彼が全力でリサーチ  
した成果を久保に披露。反応や如何に！？

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員 新人の番組パーソナリティ・今中さんは声のトーンや抑揚も聞き苦しくない。少し、言葉を嚥んでしまうところがあるが、練習、経験を重ねれば大丈夫だと思う。一方で、この番組は、パーソナリティが 3 人必要なのかを問いかけながら試聴していた。ベテランの 2 人の力を借りて、新人を成長させて行く

場所として必要ならばその意味もあるし、今中さんの場合は、ベテラン2人にトークで割って入る力量もある。2人のトークが暴走した場合や、時間が長くなってしまった場合に、進行を調整する役割も感じられたので、3人体制の意味はあると思う。番組のコンセプトの進行役の京太郎のトークにも奥深さを感じ取ることができた。1年後の番組と今中さんの成長が楽しみである。

小野委員

週末のお昼時に流れてくる「番組ベース部分」と毎回の「コンセプト」に違和感はなく、一般的な番組の「フリーをメインにした、パーソナリティの経験に支えられたトーク」ではない、コンセプトトークは、準備も必要と思われるが、こちらも、しっかり出来ていると思う。また、テーマに対する聴取者からのメッセージも的を射たものが多く、番組の内容を補完してくれている。そういう中での新人・今中さんは、久保さん・京太郎に対するギャップ＝世代間の違いを出し、久保さんたちに年の離れた世代の気持ちを知らせると良いのではないだろうか。また、久保さん・京太郎も今中さん世代の思いを見守る空気感を演出してあげることも番組を安定させる力になると思う。

加藤委員

週末の午前から午後に放送される番組として、明るく、楽しく、にぎやかで元気があって、聴きやすい。聴取者のメッセージもその回のコンセプトの情報の一つになっているので、番組が一つにまとまって完成して行く。とても成熟している番組ではあるが、初めて聴く方にも受け入れられると思う。今中さんは新しく加入したが、まだ慎重に裏方に徹している印象を受ける。当然、ベテランの2人と同列となって番組に参加することは難しいと思う。しかし、まずは語り口で番組へのメッセージを活かそうと努力していることは理解できる。現時点で今中さんが抑えているものが、今後どのように前面に出てくるのか、またどのように、トーク力の伸びを見せてくれるのか楽しみにしている。これからぜひチャレンジしてほしい。

木宮委員長

久保さんと京太郎さんの完成された2人のトークに新たに今中さんが加わったことで、新人起用で当然とも言えるがリフレッシュ感は出ている。今中さんはベテラン2人の掛け合いに何とか入っていかうとする気持ちは伝わるが、もう少しリラックスして自然体で臨む方が良さが出てくると思われる。今後は自分の個性をどこまで表現していけるのかが成長のポイントとなるだろう。なお、メッセージ読みについては、もう少し練習が必要ではないか。楽しみながら教養を深められるバラエティ番組であり、K-MIXの看板番組として今後も期待できる。

会社サイド

今中は、本年4月に入社して、今回ご試聴いただいた5/23放送回で、8回目ということもあり、まだまだ、基本を学びつつ、技術を積み上げているところですが、本人はとても勉強熱心で、先輩たちの良いところを一生懸命に体得しているところです。そのことが、現時点では、個性を出すという機会を逸してしまっていることも考えられますが、今は、必要な体験として見守っています。ご意見としていただきました当番組のパーソナリティの人数ですが、現在では、3人体制が定着しており、また、ベテランに対する世代間の違いも出して行きたいことから、現行体制の定着を図りたいと考えています。また機会をいただき、番組をお聴きいただければと思います。

以上

次回開催日 令和8年7月7日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長  
木 宮 敬 信